

アートアドバイザー講座

vol.
13

香川で 創作を 続けること

2026 3/21(土)
13:30~15:00

無料
申込不要

会場：高松市美術館 1階
エントランスホール
定員：先着 50人（申込不要）
※会場に直接お越しください。

主催：高松市美術館

ゲスト
●後藤健吉（漆芸家、「思可牟」代表）
●orm 藤井智也、高橋ちかや
(美術家、ギャラリー Syndicate 運営)
●柴田早穂（鋳金作家）

聞き手 | 原 久子（当館アートアドバイザー）

T
高松市美術館
TAKAMATSU ART MUSEUM

〒760-0027
香川県高松市紺屋町10-4
TEL: 087-823-1711

アートアドバイザー
原 久子

京都市生まれ。90年代よりアーティスト・イン・レジデンス、アートスペースの調査研究、アートプロジェクトの企画・運営、雑誌・新聞等への執筆、編集、コンサルティングなどに携わる。大阪電気通信大学総合情報学部教授。高松市創造都市推進審議会委員。2023年度より当館アートアドバイザーを務める。

後藤健吉

柴田早穂

orm
藤井智也、高橋ちかや

香川県を拠点に活動するアーティストは、どのような思いでこの地で創作活動を続けているのでしょうか。また、活動を続けていくためには、どのようなことがメリットとしてあり、どのような課題が残っているのでしょうか。

今回は、香川で現代アートに関わっているアーティストの方々（後藤健吉、orm「藤井智也、高橋ちかや」、柴田早穂）をゲストにお招きし、ざっくばらんに対話できる場を設けます。